

今回のテーマは・・・『最近』です。

4月に入り住宅関係メーカーも新商品を次々に発表しはじめました。

今回は最近の住宅関係の話題を掲載いたします。

■浴室でも使える木製ブラインドが発売

立川ブラインド工業は耐水性の高い木製ブラインド「フォレティア アクア」を5月18日に発売します。ブラインドの羽根部分に樹脂成形品を採用し、浴室などぬれやすい場所でも使用できるようにしているそうです。羽根部分の幅は50ミリメートルで、ループ式で角度を調整。

幅は45—240センチメートル、高さは50—250センチメートルで、1センチメートル単位で注文製作に応じる。幅、高さとも180センチメートルの場合、価格は8万3580円。ちなみに工事費は別。

■外来シロアリ、各地で被害拡大 住宅内に散在、駆除難しく

外来種のシロアリ「アメリカカンザイシロアリ」による住宅の食害が日本で広がりがつつあるそうです。在来種のヤマトシロアリなどと違って一か所に大きな巣や蟻道をつくらずに乾燥した木材の中に小集団で生活します。そのため乾燥した木材やドア・ピアノ・タンスなど家具類までも食害します。小集団で行動し、水分を必要としないこのシロアリは床下から天井まであらゆる木材が危険なため駆除が困難で、近隣に被害が拡大しやすく、関係者は危機感を募らせています。「日本しろあり対策協会」（本部・東京）によると、アメリカカンザイシロアリは北米大陸原産で、体長1センチ前後。国内では1976年、東京都内で発見されたのが最初とされる。その後は散発的に見つかる程度だったが、2000年以降に報告例が急増。08年末現在、被害が出たのは宮城から沖縄まで24都府県に上るそうです。

■『モデルハウス』が少なくなる？

大手住宅メーカー各社は全国のモデルハウスの数を削減する様です。積水ハウスと旭化成ホームズは約1割、三井ホームも約5%減らす方針。住宅需要の低迷で各社は収益改善を迫られており、主力モデルなどに展示を絞り込み、コスト削減につなげる。積水ハウスは約500棟のモデルハウスを2010年春までに約50棟減らす。同社の都心部のモデルハウス維持費は土地賃料や光熱費など年間で1棟当たり約3000万円かかるため、年15億円程度のコスト削減を見込む。旭化成ホームズは年約5億円、三井ホームは2-3億円のコスト抑制効果がとみられます。ミサワホームも昨年からモデルハウス新設を凍結。これからモデルハウスは減る方向の様です。